



水戸市マスコットキャラクターみとちゃん

水戸市ニュースリリース



令和6年4月24日

市政記者各位

水戸市

(公社) 日本植物園協会ナショナルコレクションに認定 「水戸のウメ」コレクション

2024年3月1日に、水戸市植物公園と偕楽園のウメの品種群が「水戸のウメ」として、(公社) 日本植物園協会のナショナルコレクションに認定されました。江戸時代の文献に見られる古典的な品種や、水戸で生まれた品種など130品種が次世代に残すべき価値のあるコレクションとして認められました。

令和6年5月23日(木)に開催される(公社) 日本植物園協会大会において、ナショナルコレクション認定証が授与される予定です。また、水戸市植物公園では、認定を記念して茨城県(偕楽園)と共催で、「水戸のウメ」パネル展を開催します。

※ ナショナルコレクション認定制度…(公社) 日本植物園協会が制定した認定制度。野生種、栽培種に関わらず日本で栽培されている文化財、遺産資源として貴重な植物を守り、後世に伝えていくことを目的とした「植物コレクションの認定、保全制度」です。

1 ナショナルコレクション「水戸のウメ」について

(1) コレクションのテーマ

水戸のウメコレクション

(2) 申請団体

水戸市植物公園

茨城県土木部都市局都市整備課 (偕楽園)

(3) コレクションの所在地と登録数

①水戸市小吹町504 水戸市植物公園内 74品種 148本

②水戸市常磐町1-3-3 偕楽園 101品種 892本

(4) 認定期間

2024年3月1日～2029年2月28日

(5) コレクションの概要

「水戸」といえば、御三家の1つ水戸徳川家所縁の地であり、水戸黄門(徳川光圀)や偕楽園などが知られている。毎年2月には水戸の梅まつりが開催されるなど、ウメゆかりの地となったのは、水戸藩九代藩主徳川斉昭のウメ好きによるものである。

水戸のウメコレクションは偕楽園と水戸市植物公園の2施設で構成され、江戸時代の文化や生活に関連した歴史ある品種や、過去の文献や梅図譜で紹介された古典的な品種を多く保有、保存、公開していることが特徴である。



2 ナショナルコレクション認定記念 「水戸のウメ」パネル展について

(1) 期間 5月25日(土)～8月25日(日) ※開園時間は9:00～17:00(入園は16:00まで)

(2) 場所 水戸市植物公園 観賞大温室内多目的室

(3) 主な内容 江戸時代から栽培され続けた古典的な品種や水戸で生まれた品種など、貴重なウメの歴史や品種のパネル展示、ウメの手作り刺繍展示、偕楽園の梅品種のパネル展示

《本件に関する問合せ先》

課名 水戸市植物公園
電話番号 029-243-9311

担当者 わたひき しるやま
綿引, 城山

課名 茨城県土木部都市局都市整備課(偕楽園)
電話番号 029-301-4660

担当者 いしかわ なかした おかざき
石川, 中下, 岡崎



水戸市植物公園



National
Collection

認定

ナショナルコレクション

未来に残すべき
園芸文化遺産

水戸のウメ コレクション

水戸市植物公園と偕楽園で保存するウメの品種が「水戸のウメ」として
(公社)日本植物園協会ナショナルコレクションに認定されました。

江戸時代から栽培され続けた古典的な品種や

水戸で生まれた品種など130品種が

次世代に残すべき価値のあるコレクションとして認められました。

歴史と魅力を紹介します。

ナショナルコレクション認定制度

秋篠宮皇嗣殿下が総裁をお務めになる(公社)日本植物園協会が制定した認定制度。野生種、栽培種に関わらず日本で栽培されている文化財、遺伝資源として貴重な植物を守り後世に伝えていくことを目的とした植物コレクションの認定、保全制度です。

昭和7(1932)年に茨城県が茨城博物同好会に梅の調査を依頼し、水戸高等学校教授の野原茂六が主任になり、鶴町猷(はかる)、斎藤宇内などが借楽園と弘道館公園内にあるすべてのウメの品種の調査・研究を行いました。

この結果、名木として約40種を選びこのうち「烈公梅、白難波、虎の尾、月影、江南所無、柳川枝垂」の6品種を、昭和9(1934)年に花形・香り・色などが特に優れている「水戸の六名木」としました。前年には当時の梅の権威者で知られる平尾彦太郎氏が借楽園に「古今集、佐橋紅、道知辺、日月、蛸出の鷹、春日野、東の都、鈴鹿の関、八朔梅、雪の曙、国光」を、弘道館公園に「旭鶴、一重寒紅、常成、金獅子、関守、緋梅、巻立山、桃園、蝶の花形」を寄贈しました。昭和20(1945)年の水戸空襲を受けウメは多くが枯死しました。茨城県は昭和29(1954)年から苗木を購入し花ウメを中心に70品種を導入。現在は約128品種を数え、観梅期には多くの観光客で賑わっています。

			
1 烈公梅 レッコウバイ	2 白難波 シロナニワ	3 虎の尾 トラノオ	4 月影 ツキカゲ
野梅系	スモモ系	スモモ系	野梅系
一重咲き	八重咲き	八重咲き	一重咲き
紅	白	白	青白
徳川齊昭(烈公)に 因む	早咲きの品種	『梅花集』 『梅花名品集』に掲載	池に映った月を思わ せる素晴らしい花形
			
5 江南所無 コウナンショム	6 古今集 コキンシュウ	7 佐橋紅 サバシコウ	8 道知辺 ミチシルベ
アズ系	野梅系	スモモ系	野梅系
八重咲き	一重咲き	一重咲き	一重咲き
紅	移り白	濃紅	紅
抱咲良花。中国の古い 品種と言われる	大輪。 満開になると平咲きに なる	中輪。丸弁。 派手で愛らしい花形	大輪。満開になると 淡紫紅の移り色になる

上から 品種名(読み方)、園芸上の分類、咲き方、花の色、備考

* 主な花の色と特徴

- 濃紅: 濃い紅色 ●紅: 紅色 ●淡紅: 淡いピンク ●極淡紅: 淡紅よりもさらに淡い色 ●移り紅: 蕾のうちは白色、開花するとピンク
- 移り白: 蕾のうちはピンク。開花すると白色に変わる。 ●白: 雪白、青白色、黄白色、乳白色など ●黄色: ごく淡い黄
- 絞り: 普通の絞りの他に半染め、吹きかけ絞り、吹きかけ、底紅、覆輪など ●覆輪: 花弁の縁が白で内側が紅色
- 口紅: 花弁のまわりが紅、花心部が淡色 ●底紅: 口紅の反対で、まわりが淡色か白、中心部が紅 ●裏紅: 花べんの裏が紅で表は淡い色

水戸市植物公園は昭和62(1987)年に水戸市が設置した洋風庭園で、建築家の瀧光夫(1936~2016)が温室をはじめ全体設計を行ないました。観賞大温室は内部や外観ともに美的要素を取り込んだもので昭和63(1988)年に(公社)日本造園学会設計作品部門で日本造園学会賞を受賞しました。

梅林は、旧水戸市園芸指導センターで栽培していたウメを、昭和61(1986)年4月に現在の管理事務所周辺の東西2箇所に移植しました。

さらに水戸市元吉田町天神山にある古典園芸植物を扱う「天神山木楽園」(故 寺門忠之氏)が収集したコレクションを加えました。その苗木は水戸市内でウメ栽培を営む茂垣勝男氏が接木を行い育てたものでした。

1品種につき概ね3本、合計約400本150品種が梅林に植えられました。

令和2(2020)年に梅林の管理は農業部門から都市計画部(公園緑地課)に移り、翌年から水戸市植物公園が担当になり、約35年を経て調査を始めました。

コレクションの特徴は、江戸時代の梅図譜で紹介された古典的な品種が多く、後世に引き継ぐべき貴重なものです。

また「天神山木楽園」の園主は古典園芸植物を扱っていたので、花ウメを中心に趣味人好みの風流な良花や、花の咲き方や花の色、枝に模様が入るなどの特徴的な形質をもった品種もあります。

「無類絞り、司絞り、春日野、長谷川絞」などの絞り咲き、「輪違い、都錦」の咲き分け、個性的な花色の「黄金鶴、鈴鹿の関」のほか、「筋入り冬至、蛸出の錦、司絞り、筋入り春日野、筋入り道知辺、天守閣」のように、枝に斑が入る珍しい品種や、水戸の歴史にちなんだ品種「家康、光圀、烈公梅、黄門しだれ」のほか、天神山木楽園が作出した「天守閣」、茂垣勝男氏作出の「寿」があります。

コレクションは次のように大別しました。

(分類には品種の重複あり)



春日野



輪違い

1 古典的な品種

2 形質に特徴がある品種~花の絞り、咲き分け、枝に斑が入る、花の色、咲き方など

※「古典的な品種」は古い文献に掲載された品種と同じ品種を選び出した。

- 1 昭和7~9年と昭和29年に借楽園で栽培されていた品種
- 2 小石川植物園所蔵の江戸時代に制作されて小石川御園に保存された『梅花正寫』の品種
- 3 明治15年3月に買來飛霞が小石川植物園に栽培されていた梅を著した『小石川植物園梅品』の品種
- 4 神代植物園所蔵の文化8年に春田四郎五郎久啓が著した『韻勝園梅譜いんしょうえんぱいふ』の品種

徳川齊昭からはじまった水戸のウメ物語

水戸市植物公園
ウメコレクション

茨城県水戸市にある偕楽園は日本3名園の1つで天保13（1842）年に水戸藩九代藩主徳川齊昭（1800～1860）によって造園されました。江戸最後の将軍徳川慶喜の父で幕末期を代表する名君の一人と評されていますが、水戸は齊昭のおかげでウメの町になりました。

齊昭は江戸で生まれ幼い頃からウメに囲まれて育ち、水戸藩主となり始めて水戸を訪れた際、ウメが少ないことを知り驚きました。江戸に戻ると自ら屋敷の梅の実を集め、毎年水戸に送り領内の家々まで植えさせました。

齊昭がウメを植えた理由は、特別史跡の旧弘道館八卦堂の南約15mに位置する「種梅記碑」に自筆の隷書で刻まれていますので、わかりやすく紹介します。



弘道館で咲くウメ



種梅記碑

「少年の頃から梅が好きで（江戸小石川の）庭内に、数十株を植えて楽しんでいた。（天保4年1833年）初めて水戸に来たら梅が非常に少ないことに驚き、江戸に戻ると毎年自ら屋敷の実を集めて水戸に送り、偕楽園などに植えさせた。（7年後）再び水戸を訪れると梅林ができ花が咲き実を結んでいた。弘道館も状態がよく数千株を側に植え、領民にも苗木を配布し植えさせた。」

種梅記碑には齊昭が梅を重宝した理由についても述べられています。

- ① 雪の中でも先駆けて咲き、詩歌の題材になる
- ② 果実には酸が含まれ、喉の渴きを取り、疲れを癒す。
- ③ 梅干しは保存がきくので、軍事の際の非常食として役立つ「梅の備えがあれば憂いなし。後人のためにこれを記す」とまとめています。

水戸市植物公園のウメ 「古典的な品種1」

水戸市植物公園
ウメコレクション

古い文献に掲載された品種

			
9 大湊 オオミナト	10 旭鶴 アサヒツル	11 叡山白 エイザンハク	12 黄金梅 オウゴンバイ
野梅系・一重咲き	野梅系・一重咲き	野梅系・八重咲き	野梅系・一重咲き
淡紅	白にわずかな紅	白色だが、蕾の時は淡紅色	淡黄
『韻勝園梅譜』で奇品と紹介。梅番付で大関	明治時代の「三鶴名花」の1つ	大輪。花香が高い品種	花弁が非常に細い。梅花で唯一の黄花
			
13 開運 カイウン	14 鹿児島紅 カゴシマコウ	15 通い小町 カヨイコマチ	16 黒田 クロダ
アンス系・八重咲き	野梅系・八重咲き	野梅系・一重咲き	アンス系・八重咲き
淡紅	濃紅	淡紅	紅
中輪。遅咲き。樹皮が粗皮になる	中輪。つぼみも濃い色で目立つ	中輪。花弁に大きな波があり紅色の筋が入る	大輪。極遅咲き
			
17 見驚 ケンキョウ	18 古郷の錦 コキョウノニシキ	19 御所紅 ゴショベニ	20 流芳 リュウホウ
野梅系・八重咲き	スモモ系・八重咲き	スモモ系・八重咲き	野梅系・一重咲き
淡紅	淡紅	淡紅	白
大輪。初め淡い紅色で後に白くなる	花弁が波打っている	中輪。京都御所から伝わる品種	芳香が強い

水戸市植物公園のウメ 「古典的な品種2」

水戸市植物公園
ウメコレクション

			
21 残雪 ザンセツ	22 麝香梅 ジャコウバイ	23 西王母 セイオウボ	24 泰平 タイハイ
野梅系・八重咲き	野梅系・八重咲き	アンス系・一重咲き	実ウメ・一重咲き
白	白	淡紅裏濃い 口紅ぼかし 一重	白
花は浅い椀形から平らに展開する	香り高し。名前は清香が強いため	紅筆と花が似る。紅筆は葉が紅葉するが薄黄色になる	「白加賀」の受粉樹に良い
			
25 高砂 タカサゴ	26 玉牡丹 ギョクボタン	27 難波紅 ナニワコウ	28 雛曇 ヒナグモリ
アンス系・八重咲き	野梅系・八重咲き	スモモ系・八重咲き	スモモ系・一重咲き
白	移り白	紅	淡紅
太宰府天満宮の銘品	明治時代の銘花 日本三牡丹の1つ。咲き始めが牡丹のよう	遅咲き。中輪	中輪。五弁抱え咲
			
29 緋の司 ヒノツカサ	30 紅千鳥 ベニチドリ	31 文珠 モンジュ	32 水心鏡 スイシンキョウ
スモモ系・八重咲き	スモモ系・一重咲き	スモモ系・八重咲き	野梅系・八重咲き
濃紅	濃紅	極淡紅	移り白
早咲き。中輪	中輪。旗弁が出るのが特徴。	大輪。香気高し	咲き始めは黄白色で満開時に白

			
33 無類絞り ムルイシボリ	34 司絞り ツカサシボリ	35 春日野 カスガノ	36 長谷川絞り ハセガワシボリ
スモモ系・八重咲き	スモモ系・八重咲き	スモモ系・八重咲き	スモモ系・八重咲き
裏紅、 細かい吹きかけ絞り	吹きかけ絞り、 紅白咲き分け	白花の中に紅白咲き 分け、絞りが入る	移り白、内側に 多い
他に類のない絞りの意味	蕾をむくと赤の絞りが少々 入っている	「輪違い」に似るが萼色が 違う	大輪。萼は紅
			
37 輪違い ワチガイ	38 都錦 ミヤコニシキ	39 月宮殿 ゲッキュウデン	40 月宮殿 ゲッキュウデン
スモモ系・八重咲き	スモモ系・八重咲き	野梅系・八重咲き	
絞りと紅白咲き分け	淡紅で裏紅	黄白色だが淡紅の花も出る	
別名「思いのまま」。 人気種	中輪。紅白咲き分けが 若干ある	枝変わりが出やすい品種。 大輪。遅咲き。昔、中国より渡来。	
			
41 筋入り冬至 スジイリトウジ	42 峙出の錦 トヤデノニシキ	43 筋入り春日野 スジイリカスガノ	44 筋入り道知辺 スジイリミチシルベ
野梅系・一重咲き	野梅系・八重咲き	スモモ系・八重咲き	野梅系・一重咲き
白	紅	白花の中に紅白咲き 分け、絞りが入る	紅
不明確な筋が枝に入るが、 なかなか見えにくい	若い枝に虎斑が入る。 夏に枝が赤く染まる * 錦は斑のこと	枝に筋が入る	色合い、形とも銘品。 枝に斑が入る

				
45 入日の海 イリヒノウミ	46 未開江 ミカイコウ	47 黄金鶴 コガネツル	48 茶青花 チャセイカ	49 雲井 クモイ
アズ系・一重咲き	野梅系・ 八重抱え咲き	野梅系・八重咲き	野梅系・一重咲き	アズ系・八重咲き
極淡紅	淡紅	黄白 裏茶絞り	青白	淡紅。中心ほ ど紅色が薄い
五弁良花	中輪。 京都誓願寺 長仙院の出	大輪。花弁が多く 弁先に波がある。 珍品	大輪。茶青花は 植木屋の名。 梅番付で大関	移り色の大輪。 この系統での名花
				
50 甲州野梅 コウシュウヤバイ	51 夏衣 ナツコロモ	52 春の粧 ハルノヨソオイ	53 藤牡丹枝垂 フジボタンシダレ	54 北斗星 ホクトセイ
野梅系・一重咲き	スモモ系・一重咲き	野梅系・八重咲き	枝垂系・八重咲き	野梅系・一重咲き
白	濃紅。内側が濃い	淡黄白	淡紅	白
代表的な野梅の1つ。 枝が極めて細い	大輪。抱え咲き。 古い品種。異色の花色	花は大柄で優雅	枝垂の大輪。 人気品種。	満開で花弁が反り 返る。花形は星状
				
55 内裏 ダイリ	56 田毎の月 タゴトノツキ	57 鈴鹿の関 スズカノセキ	58 東雲 シノノメ	
アズ系・一重、半八重咲き	野梅系・一重咲き	スモモ系・一重咲き	スモモ系・一重咲き	
裏淡紅色。抱え咲き最美麗	白	底紅で裏側が紅	淡紅	
裏紅のほかしが花の美しさを引き 立てている	咲きだしは田に映る月を 思わせる。丸い花形。	中輪。白覆輪が鮮明	中輪。底紅で、花弁の赤筋 が特徴	

参考文献

- ・梅田操 (2009) 「ウメの品種図鑑」 誠文堂新光社
- ・渡辺達三、大坪孝之、鈴木登、小林義雄、須崎輝男、藤井正夫 (1993) 「梅と桜」 社団法人日本公園緑地協会
- ・塚本洋太郎 (1988) 「園芸植物大辞典 1」 小学館
- ・邑田裕子、桜田通雄、坂崎信之、邑田仁、横山進 小石川植物園所蔵の「梅花正寫」と賀来飛霞著「小石川植物園梅品」及び関係資料について
- ・(公財) 東京都公園協会神代植物公園サービスセンター (2015) 神代植物公園特別企画展 梅いまよみがえる江戸の光彩 神代植物園所蔵「韻勝園梅譜」の全容

